令和５年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南中学校

１．本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

・国語において、「書くこと」の正答率は全国平均を上回る結果でした。しかし、「話すこと・聞くこと」の領域に課題が見られました。
・数学において、「図形」の領域では全国平均を上回る結果でした。しかし、「データの活用」の領域に大きな課題が見られました。
・英語において、「書くこと」の正答率は全国平均を上回る結果でした。しかし、「読むこと」「聞くこと」の領域で課題が見られました。

２．各教科における成果と課題について

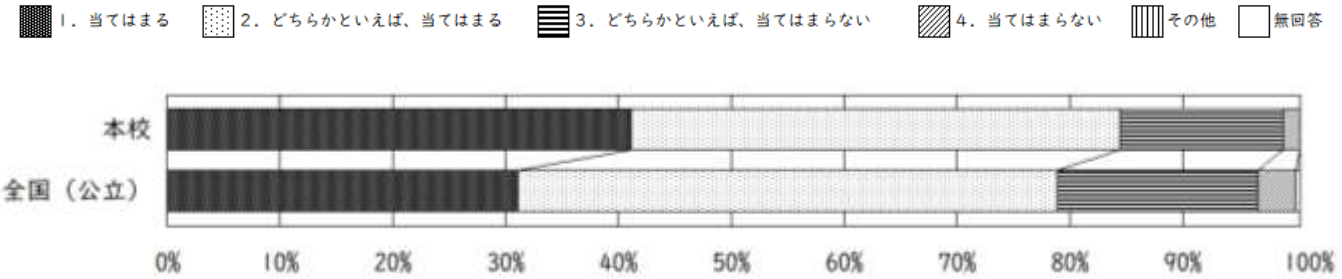
	成　果	課　題
国語	・今年度の全国学力・学習状況調査では府の平均を上回ることができました。 ・特に記述式の問題の正答率が全国平均よりも高く、普段の授業での振り返りで、自身の考えを日常的に書かせている成果だと考えられます。また、根拠を明確にして書くことや考えることができるかを見る問題において、全国平均を上回る結果となり取り組みの成果が表れました。	・観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考える問題の正答率が全国平均を下回っています。生徒は一つの問題に時間をかけて取り組むことには慣れているが、複数の資料から素早く読み取る力に課題が見られます。 ・「古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉える力」に課題が見られます。授業の中でも古典の理解力を高める機会を増やしてまいります。
数学	・「空間における平面が同一直線上にない３点で決定されることを理解している」問題の正答率は、全国平均を上回ることができました。授業での小テストなどが、空間を正確にイメージし、理解することの定着につながっています。 ・「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる」問題の正答率も、全国平均を上回る結果になりました。直線が平行になる条件を正しく理解し、説明することができています。	・「累積度数の意味を理解している」問題の正答率は、全国平均を下回っています。度数である「0.1」という誤答が多いことから、「累積度数」と「相対度数」の区別ができていない生徒が多くいることが見受けられます。 ・「四分位範囲の意味を理解している」問題の正答率も、全国平均を下回っています。範囲である「２８」という誤答が多いことから、生徒の中で「四分位範囲」と「範囲」の定義が混在していることが見受けられます。

英語	・日常的な話題について、短い文章の概要を捉える問題において成果がありました。 ・書くことに関しても全国平均を上回り、授業では書く機会を多く設け、文法的な正確さだけではなく、粘り強く書く姿勢も評価することで「相手の行動を促すという言語の働きを理解し依頼する表現を正確に書くことができる」ことの成果につながっています。	・聞くことの中でも「社会的な話題について、説明の要点を捉える」問題の正答率に課題が見られます。教科書で扱われるトピックだけではなく、社会問題などを幅広く英語で捉える取り組みを増やしてまいります。 ・読むことに関しては、長い英文を理解する力に課題が見られます。授業ではグループで協力して英文を読み解くという時間を必ず設けているので、グループワークとしては一定の成果が見られるが、個々人の読解力の向上にまではつながっていないことが課題です。

３．生徒質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉

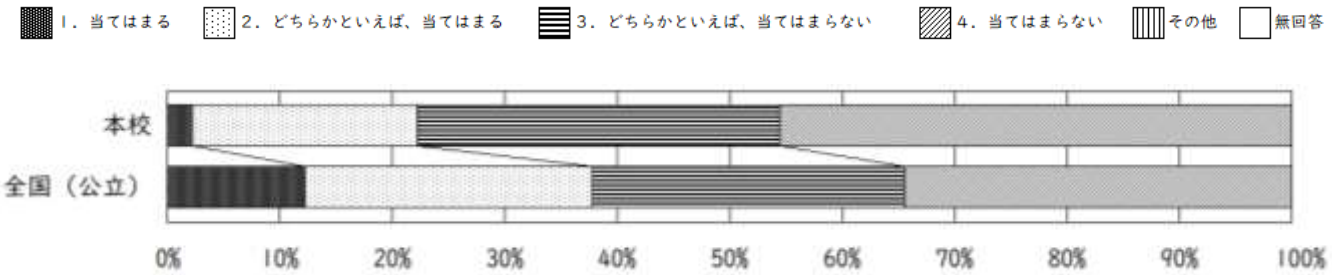
（３７）　１、２年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



〇すべての教科において対話と協働を大切に取り組んできた成果が表れています。今後も生徒自らが課題を見つけ、解決していくためのアイデアを周りと共有できるような取組みを進めてまいります。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

（２９）　今住んでいる地域の行事に参加していますか



〇この数年、コロナ禍において地域の行事を中止せざるを得ない状況であったため、必然的に生徒は地域の行事から離れてしまいました。しかし、今後は徐々に以前の取組みも復活していくこともあり、地域とのつながりを深めていくための学校としての取組みを積極的に努めてまいります。その中で、生徒が社会や地域の一員であると感じることができるよう進めてまいります。

４．成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

【国語】

・今後は授業の中で、１人１台端末などを使用し、資料を使いながら自分の考えを文章化する取り組みに重点をおくよう努めます。

・「書くこと」に成果が見られるので、その成果を活かしながら「書く力」の育成をさらに進める作文指導に取り組んでまいります。

・「話すこと・聞くこと」に課題が見られるため、教科書や教材以外にも、聞く力と話す力のスキルを向上させるために、音声コンテンツなどのツールを効果的に使用してまいります。

【数学】

・「四分位範囲」と「範囲」の定義が混在していることが予想されることから、授業では既習事項の復習をする時間を設け、知識・技能の定着を図るよう努めます。

・今後は数学的な表現の指導をする際には、暗記に偏らず、その意味や語源にも迫り、理解を促す指導に取り組んでまいります。

・「データの活用」に課題が見られるため、データ分布の比較や整理をする機会を設け、様々なデータ分布の傾向を比較して読み取るなど、実生活と数学的思考のつながりを意識できるような授業の工夫改善を図るよう努めます。

【英語】

・授業では比較的短い英文を読む習慣をつけるよう努めます。また、基礎的な力（単語力）を伸ばすための小テストなどにも今後取り組んでまいります。

・「読むこと」に課題が見られるため、授業の中で定期的にまとまった英語の文章を読む時間を提供し、読解力の向上を図るよう努めます。

・「話すこと」にも課題が見られます。授業では自分の意見を発表する機会を多く設け、自身をもって話す練習をするよう努めます。また、１人１台端末を活用し自分のスピーチや発表を録音して、それを評価しあう機会を設けて話すことの力を向上させるよう努めます。

【すべての教科において】

・教科の勉強が好きだと回答している生徒の割合が、全国平均を下回っています。生徒が興味・関心を持てるような授業展開に努め、授業改善を図るよう努めます。

・１人１台端末を活用した個別最適な授業づくりを図るよう努めます。また、デジタル教科書を使った情報の共有や音声による練習など、効果的な ICT 機器の活用を進めてまいります。

・新型コロナウィルス感染症の位置付けが５類感染症へ移行し、話し合い活動の充実など、協働的な学びに向けてさらに深い学びとなるよう取組みを進めてまいります。

５．保護者・生徒のみなさんへ

【保護者のみなさんへ】

① 早寝早起き、朝ごはんを食べるなど、規則正しい生活習慣を心がけ、体調管理に努めるよう、お願いします。

② 家庭における家庭学習の習慣の定着のためのサポートをお願いします。特に、予習や学んだことの復習、学校からの宿題や提出物などを丁寧に取り組むよう、お声がけをお願いします。

③ 子どもとの日常の何気ない会話やふれあいを大切にしてください。学校のことや地域、社会で起こっていることなどについても話し、子どもたちが自ら住む地域について関心をもち、「社会の一員」として地域の行事、ボランティア活動などに積極的に参加できるようご協力をお願いします。

④ 子どもたちの成長や努力した姿をしっかりと認め、言葉で褒めてあげてください。たくさん褒められた経験のある子どもは、自分のことも他者のことも大切にし、自己肯定感や自己有用感の高い子どもに育ちます。

⑤ スマートフォンやパソコンの使い方など家庭での約束事について話してあげてください。ＳＮＳの使い方などについても、家族会議などでゆっくりと話してあげてください。

【生徒のみなさんへ】

① 早寝早起き、朝ごはんを食べるなど、規則正しい生活を心がけ、体調管理をしていきましょう。

② 家庭学習をする習慣を身につけていきましょう。特に予習や復習、宿題などに取り組む姿勢を大切にし、自分のできることを増やしていくことで、自分の将来につながる「進路を切り拓く力」が芽生えてきます。

③ 仲間とのつながりを大切にしていきましょう。互いを尊重する姿勢でともに学ぶことで、互いに成長することができ、自分を大切にし、他者を思いやる気持ちが育っていきます。

④ 自分の思いを、自分の言葉できちんと伝える姿勢を大切にしていきましょう。

⑤ スマートフォンやＳＮＳの活用をする際に、ルールや約束事を守りましょう。ＳＮＳ講習会や学校で学んだことや感じたことを意識しながら、誰も傷つかない、傷つけない「メディアリテラシー」を大切にした利用の仕方を心がけましょう。